

Title	堀越比呂志教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	
Author	岡本, 大輔(Okamoto, Daisuke)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2020
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.63, No.4 (2020. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	堀越比呂志教授退任記念号
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20201000--003">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20201000--003</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 堀越比呂志教授退任記念号発刊にあたって

堀越比呂志教授は2020年3月31日をもって定年で退職になりました。退任記念号発刊にあたり同教授のご略歴をご紹介します。商学部教員を代表しまして、今日までの長年にわたる研究・教育・大学運営の多大な功績に対し一言御礼を申し上げたいと思います。

堀越教授は、慶應義塾高校、慶應義塾大学商学部、同大学院商学研究科修士課程・博士課程を終えられ、1999年4月に助教授として慶應義塾大学商学部に就任されました。2000年6月には博士号を取得され、2001年に商学部教授に昇進、今日に至っております。この間、20年以上にわたって、商学部の研究・教育・大学運営に熱心に取り組んでこられました。

堀越教授のご専門はマーケティング方法論、マーケティング学説史であり、マーケティング研究における理論化の可能性を一貫して研究され、学問としてのマーケティング体系の構築に力を注がれています。

ご研究においては科学哲学、社会科学方法論の成果を吸収したうえで隣接諸学科との関連を考えながらマーケティング論における研究成果を整理し構造化することで、マーケティング論の理論的基礎と新たな理論化の方向を探ることを一貫して研究してこられました。これらは『マーケティング理論の焦点——企業・消費者・交換——』、『戦略的マーケティングの構図——マーケティング研究における現代的諸問題——』、『マーケティング・メタリサーチ——マーケティング研究の対象・方法・構造——』など多くの著作によって発表され、マーケティング学の第一人者として学会での地位を確立してこられました。

それだけでなく、日本商業学会理事、経済学会連合評議員、日本広告学会評議員、日本ポパー哲学研究会代表、マーケティング史研究会世話人を歴任されるなど、まさに学界をリードする研究者として活躍してこられました。

教育に関しては、商業学およびマーケティングの領域におけるさまざまな科目を担当され、特に研究会（ゼミナール）には多大な時間と情熱を注いで指導をしてこられました。慶應の精神的伝統の上に築かれたその学問に対する真摯な姿勢は着実に学生に伝わり、数多くの優秀な塾生とともに、時代を担う研究者も育てられました。

大学運営に関しては、商学部の学習指導主任や大学学生総合センター学生部門副部長、さらには、大学院入試事務長や商学部人事委員会幹事など、学生や入試、人事など、幅広く学部・大学運営に携わり、多大な貢献をされました。

### 三 田 商 学 研 究

ご定年と聞いて大変驚いているのが実情ではありますが、慶應義塾に定年規定がある限りいたしかたがないことです。健康に留意されなお一層のご活躍をお祈りいたしております。今後も、名誉教授として研究・教育の場で、我々を含めた後進の指導をお願いし、はなはだ簡単ですがお礼の言葉にかえさせていただきます。

令和2年5月

商学部長 岡 本 大 輔